

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)

【公表番号】特表 2002-514780 (P2002-514780A)
【公表日】平成 14 年 5 月 21 日 (2002.5.21)
【出願番号】特願 2000-548755 (P2000-548755)
【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

【手続補正書】
【提出日】平成 18 年 4 月 26 日 (2006.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 偏光フィルムであって、
前記フィルムの第 1 の主要面を画成する第 1 の層と、
前記フィルムの第 2 の主要面を画成する第 2 の層と、
前記第 1 および第 2 の層の間に配置される第 3 の層と、を備え、
前記第 1 の層は、第 1 の連続相と第 1 の分散相とを含み、前記第 2 の層は、第 2 の連続相と第 2 の分散相とを含んでいる、偏光フィルム。

【請求項 2】 前記第 1 および第 2 の連続層は、熱可塑性ポリマーを含む、請求項 1 に記載の偏光子。

【請求項 3】 前記第 1 および第 2 の連続層は、同一の熱可塑性ポリマーを含む、請求項 1 に記載の偏光子。

【請求項 4】 前記第 3 の層はポリエステルを含む、請求項 1 に記載の偏光子。

【請求項 5】 前記ポリエステルはナフタレンジカルボン酸ポリエステルである、請求項 4 に記載の偏光子。

【請求項 6】 前記第 1 の連続相および前記第 1 の分散相の屈折率は、第 1 の面内軸に沿って偏向される光の場合は実質的に一致し、第 2 の面内軸に沿って偏光される光の場合は実質的に不一致である、請求項 1 に記載の偏光子。